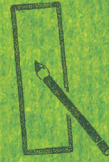


文芸きくち



万句の里俳句会 5月句会

前向きに生き来し戦後昭和の日
 久しぶり帰る夫待つ豆ご飯
 名刹の薨を染む樟若葉
 騒がしく追ひつ追はれつ鳥交る
 眩しさをやさしく返す若葉かな

川口 二子
 岩木 敬治
 加藤 妙子
 中路 郁子
 宮本 雅子

せせらぎ俳句会 5月例会

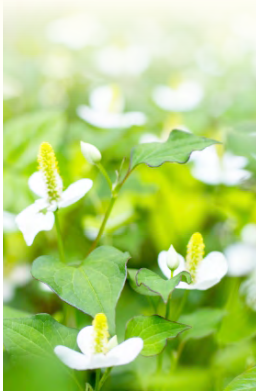
緑陰に憩えば四方に小風あり
 保健師の過労死報ず青葉寒
 母の日や今年の花は宅急便
 小さき靴ひとつ脱げ落ち草若葉
 風向きの変われば匂う柚子の花

五丁 義昭
 藤本アツ子
 森 正子
 坂崎ユキ子
 青木ユリ子

旭志文芸教室俳句の会 5月詠草

うぐいすの声追いかけるウオーキング
 春愁やあの町この町静もりて
 鶯のふた声目には谷渡り
 天空も絵巻物なりさくら風
 蜜蜂の群がる小屋梨の花

芹川のり子
 水谷 ミネ
 芹川 蓉子
 藤本けい子
 中尾ヨシコ



七城短歌会 5月詠草

生きをれば八十五の今日誕生日夫好物のメロンを供う
 はやり病感染防止に遊行止め作業着まとい菜園に来たり
 毎日の我が食欲気遣ひてくれる家族の温とし身にしむ
 駆け抜くる坂なり崖に群生の羊歯のま緑気を安まする
 グラマンが低空飛行で花房の飛行場爆撃七十五年経し今日

緒方 寛子
 渡辺 光夫
 高木 精
 佐々 重弘
 嶋田 晴美

「里」短歌会 5月詠草

空高くなびく孟宗の竹林五月の空に葉をまき散らす
 令和二年のコロナの終息願いつつ祈りを込めて庭桜植ゆ
 狭庭辺の流れに生れしか三つ四つ蛍の灯り闇を点せり
 北滴にて戦死しし父その無念黒河は流る何も無きかに
 東塔の一三〇〇年の時代経るも祈り伝へし釈迦の御魂を

山城 雅子
 梶原美智代
 林 淑子
 桑野 睦子
 宮本 淑子

溪流短歌会 6月詠草

コロナ禍にかまぼこ、外郎送りくる「元氣しちよる」と山口弁で
 クラスタ・オーバースhoot・パンデミック、コロナ旋風用語殖やせり
 コロナ禍で花の盛りに落とされて人影消えた里の藤棚
 紫陽花の花きはやかに咲き満ちる君の在らざるこの世の隅で
 つつじ咲く今朝の庭先陽の熱く蟻の行列みんなが急ぐ

田中 遥子
 岩根 博恵
 堤 よしみ
 中川 愛子
 山城 雅子

菊池短歌会 6月詠草

子の群れを遠く近くに見守りいる雷魚の母に誤りはなし
 家々に夕餉の灯り遠蛙しもつけの花も淡く咲きつつ
 身の置き処なきがに嬉々たる揚げひばり蒼穹ふかきに命さらせり
 草刈りて戻れば草の切れ端のほほにつけるを君がとりたる
 雨に濡れ山あじさいの間に咲く白い十字架どくだみの花

古賀 勝士
 中川 愛子
 怒留湯健蓉
 安藤 則子
 川口すみ子

入会希望など詳しくは、
 それぞれの句会や歌会
 にお尋ねください。

万句の里俳句会
 せせらぎ俳句会
 旭志文芸教室俳句の会

井芹 ☎090(1342)2151
 藤本 ☎0968(38)4087
 中尾 ☎0968(37)2578

七城短歌会
 「里」短歌会
 菊池短歌会

佐々 ☎0968(24)3761
 木原 ☎090(5284)2418
 安藤 ☎0968(25)4285